国際科に関する評価(r4)②

国際科に関わる評価結果 学校評価より抜粋

令和4年度 2学期

学期に1回以上、外国の人や障がいのある人など、いろいろな人と関わり、学ぶことができたとする児童を全校の80%以上にする。	
自己評価	A:児童アンケートの肯定的評価94.2%

学期に1回以上、外国の人や障がいのある人など、いろいろな人と関わる機会を設定する。	
教員評価	A:どの学年とも設定できた

※ 1学期とほぼ同様で、高い評価結果となった。1学期に国際理解の会(国際交流員を招いての交流会)を行い、国際交流会(国際情報大学の留学生との交流)を学期に1回ずつ行った。その中で他国の文化に触れるとともに、積極的に英語で関わろうとする姿が見られた。

外国の人と障がいのある人など、いろいろな人と関わり学んでいる。				
	すごくあてはまる	まあまああてはまる	あまりあてはまらない	ぜんぜんあてはまらない
児童アンケート	84.1%	10.1%	4.3%	1.4%
保護者アンケート	16.4%	45.9%	26.2%	11.5%

※ 国際交流会、国際理解の会について、HPや学校だより、学年だよりで知らせている。しかし、アンケート結果にあるように保護者の満足度がいまいち低い。家庭での関わりが少ないという認識であるようである。家庭・地域でも関われる場の紹介等をしていく必要がある。

※ 学校評議員会では、取り組みを紹介し、概ね好評価をいただいた。